



すずしろ

～開拓・発展・完成～

2月 第10号

令和5年2月28日

開進第四中学校だより

校長 田邊克宣

『あと残り一月を安全に』

まだ風は冷たいけれど、日増しに輝きを増す陽光が校庭にあふれています。廊下を歩けば、学年末考査に真剣に臨む開四中生の姿に、この一年の成長を感じます。これが終わればもう3月となり、作品展・合唱コンクール、そして卒業式と、どれも大事な行事が続きます。その全てを成功させるべく、生徒たちは日々、学校生活を送っています。

さて、新型コロナウイルスが第5類に引き下げられると同時に、2019と名称を変え、平時扱いとなるのももうすぐですが、現状はどうか。

「本校の感染対策はやや過剰ではないか」とのご意見が、学校評価保護者アンケートで寄せられました。学校としては、これまで感染防止対策を徹底してきましたが、今月に入っても、残念ながら3クラスを学級閉鎖といたしました。

この3年間、日々の学校生活を始めとして、断腸の思いで中止せざるを得なかった行事の数々。部活動の公式戦も、やっと開催できるようになったのに、学級閉鎖によって参加できなかった無念さ。

学校は、第1の感染源とはなりません。塾や遊びや家庭での感染は、仕方のないことです。今は、いつ、どこでかかるかは誰にも分かりません。大切なことは、感染を拡大させないことです。

発熱等の風邪症状から検査を受け、陽性と判断されると、遡って2日間が感染可能性のある期間となりますが、最近では、36℃台の熱で、**無症状でも陽性**であったというケースも多く報告されています。つまり、自分も気の付かないうちに、他者に感染させてしまっていることがあるのです。

新型コロナウイルスについては、インフルエンザよりも慎重な対応をとり、陽性者3人で学級閉鎖となります。学級閉鎖が複数となれば、学年閉鎖となります。そうなれば、それまでの努力も水の泡と消えてしまいます。そうさせないために、学級閉鎖は極力避けたいところですが、生徒の健康を考えれば、そちらを優先せざるを得ません。

高熱が続き、水も飲めない喉の痛みと吐き気、そして後遺症の数々。誰にもそんな思いをさせたくありません。基礎疾患をおもちであったり、ご高齢の方と同居しているご家庭もおありでしょう。感染の連鎖を断ち切らなければなりません。

“自分が”だけでなく、“自分の周りだけ”でなく、その向こう側にいる人々にも思いを馳せたとき、学校は、まだまだ感染拡大の危険から脱していないという状況を、ぜひ、ご理解ください。

ここまで教育活動を再開できた今年度を、最後までしっかりとやりきるために、卒業式においても感染拡大防止策を講じての開催といたします。併せて、4月初めの入学式においても、その後の安全な学校生活を鑑み、同様の措置を考えております。

社会一般と学校生活においては、その密度等同列に考えることはできないという現状をご勘案いただき、保護者、地域の皆様には、今しばらくのご理解とご協力を、伏してお願い申し上げます。

生徒の表彰

- 令和4年度 練馬区中学校 バドミントン1年生大会
男子ダブルス 1位
男子ダブルス 3位
男子シングルス ベスト8
- 令和4年度 Bブロック中学校バドミントン1年生大会
男子ダブルス 1位
男子ダブルス 3位
- 令和4年度 練馬区中学校 バドミントン1年生大会
女子シングルス 3位
女子ダブルス ベスト8
- 令和4年度 Bブロック中学校 バドミントン1年生大会
女子シングルス 3位